

主要事業評価シート(第1次実施計画/H29・30・R1年度)

① 基本事項	計画コード	事業名	部名	生活文化部
	17057	文化会館等大規模改修事業	課名	文化スポーツ課 文化共生G
	施策の大綱	02:健康で生きがいを持てる暮らしの充実	財務科目	01:一般会計
	基本施策	06:文化芸術の振興と文化交流の促進	05:社会教育費	10:教育費
	施策の方向	03:文化の拠点づくり	07:文化振興費	
戦略プロジェクト	-			
事業予定期間	H 29 ~ R 1 年度	主な根拠法令要綱等	亀山市文化会館条例、亀山市中央コミュニティセンター条例	

② 目的・概要	対象	施設利用者
	目的	文化会館及び中央コミュニティセンターは、築30年以上が経過しており、老朽化により不調となっている空調機器や、耐用年数を経過している設備等を改修する必要が生じており、小規模な修繕では設備の維持が難しくなっている。このことから、文化会館及び中央コミュニティセンターの設備等の長寿命化と利便性の向上を図るため、経年劣化等が見られる設備を計画的に改修する。
概要	現在不具合を生じており簡易修繕が困難になっている各施設の空調設備と、耐用年数が経過している大ホール電動昇降装置巻上機の改修など、施設の長寿命化及び安全確保を図るために必要な改修を行う。また、建築基準法施行令改正に伴う耐震基準の見直しに対応すべく、大ホール吊天井の耐震調査を行う。	

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	
③ 事業の計画・実績	年度計画	<ul style="list-style-type: none"> ○文化会館空調設備改修工事 <ul style="list-style-type: none"> ・設計業務(大ホール・会議室棟・市民ロビー) ・改修工事(会議室棟・市民ロビー) ・監理業務(会議室棟・市民ロビー) ○文化会館大ホール吊天井耐震調査業務委託 <ul style="list-style-type: none"> ・耐震調査業務 	<ul style="list-style-type: none"> ○文化会館空調設備改修工事 <ul style="list-style-type: none"> ・監理業務(大ホール) ・改修工事(大ホール) 	<ul style="list-style-type: none"> ○文化会館大ホール電動昇降装置巻上機取替工事 <ul style="list-style-type: none"> ・改修工事 	
	年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ○文化会館会議室棟・市民ロビー空調設備改修工事 ○文化会館空調設備改修工事設計監理業務委託 <ul style="list-style-type: none"> ・設計業務(大ホール・会議室棟・市民ロビー) ・監理業務(会議室棟・市民ロビー) ○文化会館大ホール吊天井耐震調査業務委託 	<ul style="list-style-type: none"> ○文化会館大ホール空調設備改修工事 ○文化会館大ホール空調設備改修工事監理業務委託 		
事業費	計画額	事業費	21,000千円	44,000千円	36,000千円
		国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
		その他			
	予算額	事業費	20,304千円	28,512千円	
		国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
		その他			
決算額	事業費 ①	20,304千円	28,512千円		
	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
人件費	総人件費 ②	3,840千円	3,892千円		
	一般職員	3,840千円	3,892千円		
	所要人員	0.50	0.50		
	臨時職員等	0千円	0千円		
	総コスト(①+②)	24,144千円	32,404千円		
受益者負担率	0.0%	0.0%			

				平成29年度	平成30年度	令和元年度	
④ 指標	①	名称	文化会館空調設備改修工事設計業務委託 進捗率	計画値	100		
			実施済み事業費／総事業費	実績値	100		
				単位	%		
	②	名称	文化会館空調設備改修工事 進捗率	計画値	28	100	
			実施済み事業費／総事業費	実績値	28	100	
				単位	%	%	
	③	名称	文化会館大ホール電動昇降装置巻上機取替工事 進捗率	計画値			100
			実施済み事業費／総事業費	実績値			
				単位			%

⑤ 事業の改善	前回評価	【前回評価の対応方針の概要を記入】 文化会館の大ホールの空調設備改修工事や電動昇降装置巻上機取替工事など、天がかりな工事が続くので、指定管理者と連携しながら、計画的に施設整備を進めていく必要がある。
	改善行動	【前回評価の対応方針を踏まえ、どのような措置を講じたか】 文化会館大ホール空調設備改修工事を実施するにあたり、利用者の安全確保を最優先に、文化会館の利用状況も考慮しながら、指定管理者と連携し計画的に施設の整備を進めた。

		評価	(判定)
⑥ 事業の評価	活動	【計画どおりに実施できたか】 文化会館大ホールの空調設備改修工事を行い、計画的に施設の整備を進めた。	A 計画どおり実施できた
	成果	【成果は順調に上がったか】 文化の拠点の核となる文化会館の施設整備として、文化会館の利用状況も考慮しながら、指定管理者と連携し計画的に実施した。	A 十分な成果を得た

⑦ 今後の対応方針	課題	【課題は何か】 文化会館及び中央コミュニティセンターは築30年以上経過しており、経年劣化等がみられる設備等を計画的に改修し、文化の拠点の核となる施設を整備していく必要がある。	今後の方向性 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> その他 【その他の場合、その内容を記載】
	対応	【課題に対し、どのように対応するか】 安全確保を最優先に、施設の利用状況等も考慮しながら、指定管理者と連携し、計画的に施設整備を進めていく。	
	効果	【対応することで、どのような効果が期待できるか】 小規模な修繕では設備の維持が難しくなっているため、計画的に施設を改修することで、施設の長寿命化と、文化の拠点として利用者の利便性の向上につなげる。	
対応時期		令和元年度	

【1次評価者】	生活文化部 文化スポーツ課 文化共生グループリーダー 米津 ひろみ
【最終評価者】	生活文化部 文化スポーツ課長 小森 達也

(参考:前期基本計画期間(H29-R3)における評価履歴)

		H29	H30	R1	R2	R3
判定	活動	A	A			
	成果	A	A			